

8.20 SAT

## トークイベント

### 「映画『この世界の片隅に』ができるまで」を開催しました。



8月20日の午前中に、映画『この世界の片隅に』のプロデューサー真木太郎氏をお迎えして、この作品がアニメーション映画化されるまでの経緯や、制作中の裏話などをうかがいました。

#### 『この世界の片隅に』との出会い

真木さんが『この世界の片隅に』を知ったのは、映画を制作中の会社・MAPPAの丸山会長を通じて。丸山会長に手伝ってくれと声をかけられたことがきっかけで片淵監督の前作・『マイマイ新子と千年の魔法』を見て、そのクオリティの高さから、『この世界の片隅に』もぜひ成功させたい、とプロデューサー魂に火がついたとのこと。

#### クラウドファンディング

プロデューサーの仕事とは、お金を集めてきて、集めてきた以上に儲けを出すこと。しかし、資金集めはなかなかうまくいかず、クラウドファンディングを思いついたそうです。当時はまだメジャーではなかったクラウドファンディングでは、それを知らしめる手段や、プロジェクトに参加する付加価値の提供など様々なプロモーション活動が必要。映画を完成させることはもちろんですが、本編の前に作られたPVやすすさんからの手紙は投資者への恩返しなのだそうです。



開館してすぐの始まりだったにも関わらず、大勢のお客様にご参加いただきました。

#### 公開が近付いて

クラウドファンディングが始まったころは余裕だと思っていたが、公開日が決まってもまだ完成してはいない、というのは最後までいいものを作りたいという気持ちの裏返し。

『この世界の片隅に』は劇的なクライマックスが用意されている作品ではないが、100年先にも残る作品にしたいという思いを語って下さいました。



聞き手の山本制作宣伝プロデューサー（左）も驚く裏話も聞かせていただきました。

呉市立美術館

真木プロデューサー、山本制作宣伝プロデューサー、参加者の皆様、ありがとうございました。